2021年6月11日

株 主 各 位

レイズネクスト株式会社
代表取締役社長　毛利 照彦

ISS社の推奨レポートに関する弊社の考え方について

拝啓　平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2021年6月24日開催予定の第117回定時株主総会の第3号議案「監査等委員である取締役2名選任の件」（以下「本件選任議案」といいます）における候補者番号2番の水地啓子氏に関して、Institutional Shareholder Services, Inc.（以下「ISS社」といいます）が、6月7日に推奨レポート（以下「本件レポート」といいます）を発行し、反対を推奨しているとの情報を入手しました。

つきましては、本件レポートに関して、下記のとおり弊社の考え方について説明させて頂きますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

１．ISS社の反対推奨の内容

本件レポートによると、本件選任議案に関して、不十分な情報開示により出席率の計算ができないことを理由に、反対推奨をしています。これについては、「監査等委員会設置会社においては、前会計年度における取締役会の出席率が75%未満の社外取締役、及び監査等委員会における出席率が75%未満の監査等委員である社外取締役について、原則として反対を推奨する」とのISS社の議決権行使助言基準を判断するに必要な情報が足りていないことを意味していると思料いたします。

２．弊社の考え方

この点、水地啓子氏の2020年度の取締役会及び監査等委員会の出席状況については、弊社「定時株主総会招集ご通知」の第3号議案（15ページ）の冒頭の候補者一覧表の中に「取締役会出席状況（2020年度）」、「監査等委員会出席状況（2020年度）」の欄を設け、それぞれ「10／12回」、「6／6回」と記載しております。これにより、2020年度において開催いたしました取締役会に12回中10回出席（出席率83%）し、監査等委員会に6回中6回出席（出席率100%）していることが明確に記載しておりますので、出席率の計算に必要な情報は開示されており、ISS社が当該情報を見落としたものと思料いたします。

なお、実際にも同じ出席率75%の議決権行使基準を設けているGlass, Lewis & Co., LLCは、本件選任議案に賛成推奨をしております。

以上、書面によるご説明で恐縮ですが、第117回定時株主総会の第3号議案に関する弊社の考え方について説明をさせて頂きました。

株主の皆様におかれましては、上記の内容をご確認頂き、本件選任議案に関して何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上